

「社協」は、みなさんの参加とささえあいでも地域福祉をすすめる福祉団体です。

ホームページアドレス
http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo

よこすか 社協だより

since 1951

YOKOSUKA

編集・発行 季刊

社会福祉法人
横須賀市
社会福祉協議会
〒238-0041
横須賀市本町2-1
TEL. 046-824-3435
046-821-1301
FAX. 046-827-0264



布おもちゃ親子サロン“ポケット”ひろば 4月11日(金) オープン!

横須賀市社会福祉協議会では、第3次地域福祉活動計画(次頁参照)の実施事業の一つとして、「布おもちゃ親子サロン“ポケット”ひろば」を開催します。このサロンでは、ボランティアセンターで貸し出している布おもちゃや布えほんを使い、お母さんやお父さんと子どもたちが遊ぶ場や、子育て中のお母さん、お父さん同士が交流する場を提供するほか、製作ボランティアの「よこすか布おもちゃグループ“ポケット”」のメンバーも一緒に入って遊んでくれます。

子育て中のお母さん!!! お父さん!!! 公園デビューならぬ、布おもちゃサロンデビューを一緒にしてみませんか?

- ♪と き: 毎月第2金曜日 10時~11時30分・13時~14時30分
- ♪と ころ: 総合福祉会館 5階 教養活動室(和室)
- ♪対 象: 0歳児から6歳児(未就学児)を子育て中の親子
- ♪参加費: 無料です。
- ♪問合せ: よこすかボランティアセンターへ(7頁右上参照)

布おもちゃ親子サロン“ポケット”ひろば 平成20年度開催予定

平成20年 4月11日・5月9日・6月13日・7月11日・
8月8日・9月12日・10月10日・
11月14日・12月12日
平成21年 1月9日・2月13日・3月13日

布おもちゃ・布えほんの 製作ボランティア募集中!

布おもちゃや布えほんを製作しているボランティアグループ「よこすか布おもちゃグループ“ポケット”」ではメンバーを募集しています。毎週金曜日(祝日・第5金曜日を除く)、10時から15時まで、よこすかボランティアセンターで活動していますので、興味がある方は、ぜひ一度見学にお越しください。

市社協のホームページアドレスが変わりました。 <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo>

本紙は古紙100%の再生紙を使用しています。

第3次 わたしがつくる みんなでつくる 一人ひとりが“住みやすい”まち 横須賀 を目指して 地域福祉活動計画を策定!

横須賀市社会福祉協議会では、誰もが安心して自分らしく暮らすことのできる地域づくりを目指して、この3月に「地域福祉活動計画」(第3次)を策定しました。

地域福祉活動計画は、地域に暮らす人たち一人ひとりをはじめ、地元の商店、企業、学校、病院、福祉施設・団体など、その地域に関係のあるすべての方々が、地域社会を担う一員として、自分の地域について考え、みんなで住みよい地域づくりを行っていくための行動計画です。

この地域福祉活動計画では、地域の課題を整理し、そ

れらの課題の解決に向けて取り組み目標を掲げ、地域のみなさんにさまざまな行動を提案しています。みなさんのお住まいの地域で「地域福祉」を進めていくとき、住みやすい地域づくりのヒントとして、ぜひ地域福祉活動計画をご活用ください。活動計画の冊子は、6月以降に市社協の窓口等で配布(ホームページでは4月以降に掲載)する予定です。今後の『社協だより』でも、活動計画に関するさまざまな情報をお伝えしていきますので、どうぞご期待ください。

基本理念

わたしがつくる みんなでつくる
一人ひとりが“住みやすい”まち 横須賀

★計画期間：5年
(平成20～24年度)

地域が抱える課題

- ①人間関係の希薄化と地域における孤立
- ②誤解や偏見の存在
- ③伝わらない情報
- ④地域活動への理解や支援の不足
- ⑤社会環境の変化による生活のしづらさ
- ⑥理解・対応されにくい問題の存在
- ⑦福祉施設・関係機関における職員等の専門性の重要性

誰もが取り組んでいくこと (2つの主体と市社協)

わたしたち

地域で生活や活動をしているすべての人や企業などのことを指します。

福祉施設・関係機関

福祉サービスを提供している施設・機関・企業などの組織やその業務に従事している福祉の専門職員などを指します。

地区社会福祉協議会

地区社協ごとに地域福祉活動計画を策定し、地区の状況に合った地域福祉を推進。

横須賀市社会福祉協議会

「わたしたち」「福祉施設・関係機関」が少しでも取り組みやすくなるよう支援するとともに、これらの取り組みを連携・共働していく役割を担います。また、自らも課題の解決に向けて取り組みます。

基本目標

7つの取り組み目標

I 住民一人ひとりの参加による
地域福祉を進めよう

- A 一人ひとりが地域や福祉への理解を深めよう
- B 子どものころから地域や福祉にふれられる環境をつくっていこう
- C 身近な地域における福祉活動を進めていこう
- D さまざまなボランティア活動・市民活動を進めていこう

II 住民一人ひとりが自立した生活を送ることができるよう
づくりを進めよう

- E 誰もが安心して生活できる仕組みをつくっていこう
- F 多種・多様な機関・団体・個人の協働を進めていこう
- G 理解・対応が不足している問題にも目を向けていこう

課題解決
に向けた
取り組み

支援

支援

支援

課題解決に向けた取り組み

連帯・支援

横須賀市(地域福祉計画)

- ★横須賀市社会福祉協議会の活動支援
- ★「地域福祉活動計画」実施の支援

目
で
課
題
は
進
め
ら
れ
る
よ
う
に
し
て
い
き
ま
す



横須賀市社会福祉協議会の主な事業 地域福祉活動計画に基づく事業を展開します!

平成20年度

前頁の「地域福祉活動計画」に基づき、今まで行ってきた事業には工夫を加え、また、新しい事業を立ち上げてこの活動計画に掲げた7つの取り組み目標に向かって横須賀の地域福祉を進めていきます!

一人ひとりが地域や福祉への理解を深めるために

- 『よこすか社協だより』の発行(年4回/4・7・10・1月発行)
- ホームページによる情報提供(<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/shakyo>) * アドレスが変わりました
- 「やさしさ広げ」ふれあいフェスティバルの開催(*8頁) ●社会福祉大会の開催
- 福祉のまちづくり出張トーク



子どもの頃から地域や福祉にふれられる環境づくり

- 高校生福祉体験学習(はまゆうキャンプ) ●ふれあいキャンプ
- 小・中・高ボランティアスクール ●ボランティア体験学習

身近な地域における福祉活動を推進するために

- 地区社会福祉協議会活動支援 ●地区ボランティアセンター活動支援 ●社会福祉推進委員活動の推進
- 社会福祉推進委員活動の推進 ●地域福祉活動計画策定モデル地区設置 **NEW!**
- ふれあいいきいきサロン、ふれあい子育てサロン活動の推進



さまざまなボランティア活動・市民活動を推進するために

- よこすかボランティアセンターの運営 ●『ボランティアニュース』の発行(年6回・偶数月発行)
- ホームページによる情報提供(<http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc>)
- 講座企画実践委員会の開催 **NEW!** ●場づくりサロンの開催 **NEW!** ●福祉機材等の貸出
- 布おもちゃ・布えほん貸出事業 ●布おもちゃ親子サロン“ポケット”ひろば **NEW!** (*1頁)
- おもちゃの病院(*7頁) ●ハンディキャブ等による送迎活動事業(福祉有償運送事業) ●当事者活動の育成・支援

誰もが安心して生活できるしくみづくり

- 地域福祉権利擁護事業 ●法人(成年)後見事業 ●相談事業(権利擁護・生活福祉資金貸付・介護)(*8頁)
- 生活福祉資金貸付事業 ●低所得者援護事業 ●ふれあいお弁当事業
- 福祉機器展示場の運営・介護ビデオの貸出 ●障害児余暇支援連絡会の開催 **NEW!**
- 災害時の要援護者支援についての研究会の開催 **NEW!**
- 災害ボランティア・シュミレーション訓練 **NEW!**



多種・多様な機関・団体・個人の協働を推進するために

- 共同募金運動の推進(*5頁) ●地域福祉活動計画推進委員会 **NEW!**
- 「よこすか福祉の輪市民会議」支援(よこすか地域福祉計画との協働事業)(*4頁)
- 湘南シーレックスホームゲーム招待事業(障害児者のレクリエーション支援)協力
- 企業の社会貢献活動と地域資源としての企業に関する調査



理解・対応が不足している問題に対応していくために

- 住民支援講座「いろいろな悩みを抱えている人たちのことを知る講座」の開催 **NEW!**

よこすか地域福祉計画との協働事業 「よこすか福祉の輪市民会議」

広げよう地域福祉の輪!!

地域福祉特区事業を募集

「地域福祉特区」とは、団体・グループが地域で行っている「支え合い、助け合う」福祉活動を、市がモデル事業として認定し、経費の一部を助成する制度です。

これまでに――

- ①介護予防体操を行う
「北下浦フリフリグッパ体操を広げる会」
- ②町内会がボランティア活動を行う
「みかん台ボランティア会」
- ③高齢者・障害者のための
「三浦半島パソコンサポートネットワーク」
- ④有償ボランティアで支援を行う
「福祉コミュニティ 湘南たかとり福祉村」
- ⑤子育て支援・異世代交流を行う
「久里浜台キュービーくらぶ」

――の5つの団体を認定しています。

平成20年度中に実施される、このような福祉活動や企画を募集します。先駆的で、市内の各地域に福祉の輪が広がるような事業の応募をお待ちしております。

◇募集期間：4月1日(火)～5月2日(金)

第3期よこすか福祉の輪市民会議委員を募集します。

「よこすか福祉の輪市民会議」は、約100人の市民で構成され、地域の課題を検討し、「福祉の輪のつどい」や「出前ミーティング」、「井戸端づくり」などを実施して、福祉に対する住民意識を深め、福祉活動の輪を広げています。あなたも、身近な課題を解決するためにできることを、一緒に検討しませんか？

◇対象：市内在住・在勤・在学の人

◇任期：平成20年7月1日から2年間



詳しくは、市役所分館2階健康福祉総務課、総合福祉会館、行政センター、役所屋、市社協にある募集案内が、市のホームページ内「よこすか福祉計画を推進しています!!」をご覧ください。

お問い合わせ：横須賀市健康福祉部 健康福祉総務課 TEL.822-8267

★個人(10件)
前田幾代、辻村房子、小笹万土、大竹裕、大竹翼、福本洋子、笹岡純子、廣部栄子、遠藤秋男、特別養護老人ホーム ヒューマン職員の皆様

★団体(3団体)
横須賀交響楽団、日本福音ルーテル横須賀教会、社会福祉法人富士美

平成19年12月1日
平成20年2月29日
(順不同・敬称略)

「賛助会員募集中」
★お名前とご住所を、表紙にある連絡先へ、電話、はがき、FAX、Eメール等でお伝えください。三浦藤沢信用金庫と湘南信用金庫の振込用紙(両信用金庫のご協力により振込手数料が無料になります)を送付させていただきます。
団体会員 一口5000円
個人会員 一口1000円
会費は年会費となっております。口数は何口でも結構です。

賛助で参上!
社協活動応援団



賛助会員の紹介

住宅ローン・消費者ローン等のご相談・お申込は
湘南しんきん各ローンセンターへ

ローンセンターは休日も営業しております。

■本店ローンセンター 0120-413-357

■久里浜ローンセンター 0120-472-195

■上大岡ローンセンター 0120-470-417

■茅ヶ崎ローンセンター 0120-472-194

SHONAN

湘南信用金庫

ホームページアドレス
<http://www.shinkin.co.jp/shonan>

平成19年度 赤い羽根共同募金結果報告

ありがとうございました!



毎年10月1日から12月31日まで全国一斉に行われ、大勢の方々に支えられている共同募金運動。昨年みなさまからお寄せいただいた寄付金は84,188,422円で、内訳は表のとおりとなりました。あたたかいお気持ち、ありがとうございました。

横須賀市における共同募金運動は、平成14年度から「一般募金」(赤い羽根募金)と「年末たすけあい」を統合し、年1回の運動として取り組んでいますが、配分の際にはこれまでの二つの募金の趣旨にしたがって取り扱っています。その内訳は、実績総額の60%を一般募金分、40%を年末たすけあい分とし、一般募金分(A)は、神奈川県共同募金会から横須賀市を含む広く県下の民間社会福祉施設・団体へ平成19年度に配分される予定で、年末たすけあい分(B)は、横須賀市社会福祉協議会を通じて市内の社会福祉施設・団体へ配分しました(一部20年度に配分)。

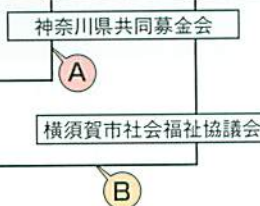
募金方法		実績総額(円)	
		取扱区分	
		一般募金	年末たすけあい
戸別募金	74,551,554	40,876,185	33,675,369
街頭募金	2,456,187	2,456,187	
法人募金	2,263,500	2,263,500	
職域募金	3,449,799	3,449,799	
校内募金	647,245	647,245	
その他の募金	820,137	820,137	
合計	84,188,422	50,513,053	33,675,369

配分先	配分額(円)	合計
県内民間社会福祉施設・団体	50,513,053	50,513,053
市内障害者地域作業所(39カ所)	2,652,000	33,675,369
市内障害者生活ホーム(32カ所)	1,056,000	
市内障害者地域訓練会(32団体)	1,056,000	
市内児童福祉施設・団体等(3施設・団体)	177,000	
地区社会福祉協議会(17地区)	28,734,369	

(A) 県共同募金会から横須賀市を含む広く県下の民間社会福祉施設・団体へ配分。

(B) 県共同募金会から横須賀市社会福祉協議会を通じて市内の社会福祉施設・団体へ配分。

※2月末現在の結果となっており、3月に寄付があった場合、募金額・配分額が変わります。



「はぐくみかん」が誕生!

子どもに関する市行政の機能を集約

この4月1日、横須賀市役所のすぐ近く、小川町16番地に、子どもに関する総合的、一体的な支援体制の中核機能を担う施設として、子育て支援の総合相談窓口、療育相談センター(肢体不自由児と知的障害児の通園施設と療育相談事業)、児童相談所を併せもつ「はぐくみかん」がオープン。

〈お問い合わせ〉

横須賀市こども育成部
こども青少年企画課
TEL.822-8265



ふれあいキャンプ実行委員 大募集!!!

毎年8月、鴨居コミュニティセンター(旧:鴨居地域自治活動センター)で、主に知的な障害のある小学校3年生から高校3年生の子どもたちと遊んだり、泊まりながら一緒に過ごす「ふれあいキャンプ」。今年で31回目になります。

このキャンプを企画・運営するのが、ふれあいキャンプ実行委員会。今年も5月から、高校生、専門学校生、大学生など、学生が中心になって、キャンプで行うプログラムを話し合ったり、役割分担しながら当日に向けた準備などを行っています。

年齢や学校は違っていても、みんなお互い学生ボランティア。一つの目標に向かって、一人ひとりの力を大きな力に変えて取り組んでみませんか。

募集対象: 高校生、専門学校生、大学生等で、福祉に関心や興味のある方

募集人数: 20名

その他: お申込みやお問い合わせは、よこすかボランティアセンターまで(7頁右上参照)。



学校の勉強よりも熱心?!



準備作業中...ちょっとちがってます



当日のキャンプはこんな雰囲気です

企画・デザイン・写真撮影から印刷まで

企画からデザイン、写真撮影、印刷、製本までの一貫した対応により、スピーディーかつローコスト化を実現します。高品質な仕上がりでお客様の要望にお応えします。

- チラシ広告 •ポスター •パンフレット •冊子 •記念誌
- 名刺 •伝票 •カレンダー •封筒 •のぼり旗・幕 •シール
- POP各種 •販促物取付器具 •写真撮影 •ラミネートフィルム
- 名入れグッズ各種 •その他印刷物全般



企画・デザイン・印刷・製本
株式会社 アド・ワークス

〒239-0807 神奈川県横須賀市根岸町4-9-13
TEL.046-833-1010(代) FAX.046-833-0622
e-mail:eigyout@e-adworks.com

団塊の世代のみなさん注目! <シリーズ⑥> 地域デビューした先輩ヘインタビュー!



明石 正治 さん (65歳・大津地区民生委員)

今回で6回目を迎える団塊の世代の方々へ向けた地域デビューシリーズ。今まではボランティアさんを中心にインタビューしてきましたが、今号では昨年の12月1日から新たに民生委員に就任した明石さんにインタビューしました。

◆明石さんが地域に興味を持ったきっかけは?

自分の子どもを地域のソフトボールチームに入れたのですが、あまりうまくプレイできなかったで、それなら自分も一緒に入って、チームごと指導しようと思って始めたのがきっかけです。その後は、子ども会や子ども会連絡協議会、青少年指導員や町内会役員と、休みの日は地域の人と交流をするようになりました。

実は、子どものソフトボールに関わるようになる前は、隣近所知り合いはいないし、名前も知らないといった状況でした。

◆仕事との両立はどうでしたか?

仕事との両立はとても難しかったことを覚えています。時間をとることがまず難しい。当時、仕事は週休1日で、いわゆる高度経済成

長期まさかりで、帰りも遅かった。子ども会連絡協議会の夏休みのキャンプは、1週間あるうちの土日を使ってなんとか4日間だけ参加するという感じでした。

◆民生委員になって4ヵ月。困ったことはありましたか?

町内会の会員ではない方の把握が難しく困りました。支援が必要な方ほど町内会に入っていない場合が多い。民生委員になってから、見守りが必要な方の家を回りましたが、まだ会っていない方もいます。

◆民生委員として今後の目標は何ですか?

社会福祉推進委員の方々との意見交換、情報交換を定期的に行って、地域の状況を把握していきたいと思っています。また、地域に情報を提供して、情報をみんなで分かち合えるように心がけたいと思っています。

会社のような営利的な目標ではなく、いかに地域の方をサポートできるか、自分にできることを考えて活動していくことを目標にしたいです。

◆これから地域デビューする方へのメッセージ

いろいろやってきて、できた仲間がいるお陰で、第一線を離れても仲間たちとテニスをしてみたり、飲み会をひらいたり楽しく過ごすことができています。いきなりは難しいから、若いうちから気楽に少しずつ地域デビューしてみてもどうでしょう? 「近くの他人」がいると、すごく助かりますよ。みんなで地域を、いかに住み良く、楽しく、活性化させるか考えるのもいいんじゃないでしょうか? まずは地域の行事に参加してみてもどうでしょう? ちょっとでも参加してみれば雰囲気もわかると思います。

町内会等で役をもつことが嫌だから、参加しないという方がいますけど、嫌々だったり、やらされているんじゃないでしょうか?

楽しみが無いんだったら、つくっちゃえばいい。仲間には「ボランティアを楽しもう!」と話しています。

グループ紹介 ②②② アクション

「アクション」は、17歳から21歳までの知的な障害のある方のグループです。毎月第2日曜日、社会性を身につけるために、バスや電車などの公共交通機関を利用して外出活動を行っています。また、8月と12月は日帰りバス旅行、年に一度は1泊旅行を計画。一緒に出かけてくれるボランティアさんを探しています。

接し方のポイント

7頁でも4月の活動を募集!

- ひとりの仲間として接する
- 何もかも手助けするのではなく必要な手助けをする
- うまくできたことを素直にほめる
- ゆったりとした気持ちで接する

★さまざまな特徴はすべての方に当てはまるものではなく、一人ひとり違います。接し方も同様で、人それぞれ合った方法は違います。

♪お問い合わせ: よこすかボランティアセンターへ(7頁右上参照)



くらしの相談室

上町支店内 お客様相談室

平日: 午前10時~午後7時

(土・日、祝日および1月1日~3日、12月31日は除きます。)

0120-0468-01 通話料 無料

毎日の暮らしで困ったことや知りたいこと(金融以外のことで)

資金運用やご融資のこと、企業経営のことなど

お気軽にご相談ください。

TRiBank Miura Fujisawa

三浦藤沢信用金庫

<http://www.shinkin.co.jp/miurafuj>



ボランティアコーナー

よこすかボランティアセンター

開 所 月曜日～土曜日 9時～17時(日曜日と祝日は休み)

場 所 〒238-0041 横須賀市本町2-1

汐入駅から徒歩6分「ショッピングプラザ横須賀」の右となり、市立総合福祉会館の4階です。

電 話 (821) 1303 (825) 0017 / FAX (824) 8110

E-mail shakyo-v@abox22.so-net.ne.jp

ホームページアドレス <http://www.yokosuka-shakyo.or.jp/vc/>

ボランティア大募集

①募集团体・アクション

内 容: 外出介助

日 時: 4月13日(日)

9時50分～16時

場 所: 井の頭公園

☆知的障害のある方のグループです。

②募集团体・メロディー

内 容: 外出介助

日 時: 4月27日(日)

9時45分～16時

場 所: いちご狩り(津久井浜)

☆ダウン症のお子さんたちのグループです。

③募集团体・サークルかえる

内 容: 一泊旅行の付き添い

日 時: 4月19日(土)～20日(日) 集合時間未定

場 所: 草津温泉

☆知的障害のある社会人グループです。参加費1万円程度必要。

④募集团体・米海軍横須賀基地MWR

内 容: 独立記念日イベント(インディペンデンスデイ)のお手伝い

日 時: 7月4日(金) 14時～20時頃

場 所: 米海軍横須賀基地

☆ゲーム・フードコーナー、動物村のお手伝い。体力に自信のある18歳以上の方。パスポート、運転免許証(ICチップ不可)、写真付住民基本台帳カードのいずれかが必要です。



傾聴ボランティア養成講座

横浜いのちの電話 小林 芙美子 氏を講師に招き、高齢者を対象とした傾聴ボランティア活動のための基本的な方法や技術について学びます。

日 時: 5月14日/21日/28日・6月11日の全5回(施設実習含む)

※曜日・時間はいずれも水曜日の10時から12時まで。

施設実習は、6月3日(火)から5日(木)までのうちの1日(半日程度)です。

場 所: 総合福祉会館(本町)

参加費: 3,000円

申込み: 往復はがきに氏名、住所、電話番号、施設実習希望日(6月3日(火)～5日(木)をご記入)をご記入のうえ、よこすかボランティアセンターへお送りください(4月18日(金)必着)。

定 員: 30名(抽選)

おもちゃの病院



平成20年度開院日のご案内

開 院 日: 毎月第1土曜日(5・6・1月を除く)

平成20年 4月5日★5月10日★6月1日★7月5日★8月2日

9月6日★10月4日★11月1日★12月6日

平成21年 1月10日★2月7日★3月7日

受付時間: 10～12時

場 所: よこすかボランティアセンター 第1活動室(総合福祉会館4階)

☆電池で動くおもちゃを持参する場合は、新しい電池をお持ちください。

☆修理代は無料、部品交換の場合は実費負担をお願いします。

☆6月1日は「やさしさ広げれ」ふれあいフェスティバル(8頁参照)の中で開院します。

★『ボランティア大募集』枠内、①～④の申込み: 電話・FAX・E-Mailのいずれかで、氏名・年齢・住所・電話番号をよこすかボランティアセンターへ。

リニューアルキャンペーン

イトマンが横須賀から生まれ変わりました!

生まれ変わった横須賀イトマンにぜひお越し下さい。



試してナットク 全クラス

★電話予約制 お気軽にどうぞ★

1日無料体験

5月28日(水)までに正会員に入会されると

入会金 5,250円 ▶ 100%OFF

●幼児・ジュニアクラス 指定用品一式 プレゼント!

●ベビークラス ヘルパー + スイミングキャップ プレゼント!

●大人クラス ゴーグル + スイミングキャップ プレゼント!

初月度授業料 2,000円割引

※キャンペーン特典は、3ヶ月以内の再入会者の方は適用できません。

横須賀イトマンスイミングスクール ☎ 046-823-6170

横須賀市日の出町3-11 <http://www.e-itoman.co.jp> ※毎月末29・30・31日と祭日は休館日です(振替休日は平常通り営業)



お気軽にご相談下さい

秘密厳守

※場所はいずれも市立総合福祉会館2階です。
相談日が祝日に当たる時はお休みとさせていただきます。／12時15分～13時はお昼休みとさせていただきます。

権利擁護相談(弁護士相談)

このようなことで困っていますか？
障害のある子どもに財産を残したい
障害のある兄弟が借金の返済を迫られている
認知症のある親が知らない間に、高価な買物をしていた

高齢の方、障害のある方の権利を守るための相談に弁護士が答えします。

事前に職員が相談内容をお伺いします。

【予約制】
毎月第3水曜日
13時～16時
一人45分です。
予約はTEL(821)3605

生活福祉資金貸付相談

地域における自立生活を支援するため、生活福祉資金貸付相談を受け付けています。
【相談にあたって】

①使用目的別に資金貸付があります。
(一般生活費は貸付できません)
②地区担当民生委員による相談援助活動が行われます。
③借受人世帯の自立を支援できる連帯保証人が必要です。
(市内在住の方)

【予約制】地区担当民生委員とともに相談内容をお伺いいたしますので、来所前に必ずご連絡ください。

【予約制】
毎週月・水・金曜日
9時～17時
予約はTEL(821)1301
地域福祉課 生活福祉資金担当

介護相談

福祉機器や介護について介護福祉士がお答えします。
毎週月曜日～金曜日
10時～16時
福祉機器展示場
電話相談
TEL(824)9436

住宅改造相談

ちよつとした工夫や改造をすることで、暮らしやすい家になることができます。
障害者や高齢者のより住みやすい環境をつくるために、神奈川県建築士事務所協会横須賀支部の建築士をはじめ、介護福祉士が相談に応じます。

【予約制】
毎月第4水曜日 10時～15時
予約はTEL(821)1301

であいふれあいたすけあい
今年もやります！

「やさしさ広がれ」 ふれあいフェスティバル

主なイベント内容

- 盲導犬のデモンストレーション
 - 福祉バザー
 - 介護、栄養、ボランティアの相談コーナー
 - 手話、要約筆記、点字、車いす等の体験コーナー
 - 地域作業所の作品販売
 - 布おもちゃ・布えほんの「みてさわって遊ぼう」コーナー
 - おもちゃの病院・おもちゃ作りの体験ほか
- 日 時：平成20年6月1日(日) 10時～15時
場 所：総合福祉会館
問合せ：市社協 地域福祉課
TEL.821-1301

※当日は駐車場を使用できないため、ご来場の際は公共の交通機関をご利用ください。

★ボランティア同時募集★

日 時：6月1日(日) 9時～16時(予定)
場 所：総合福祉会館
内 容：会場案内係、売り子係、駐車場係など
申込み：5月7日(水)まで
問合せ：よこすかボランティアセンター
(7頁右上参照)



ありがとう

社会福祉のために、次の方々から温かい寄付がありました。

平成19年12月1日

平成20年2月29日(敬称略)

横須賀商工会議所女性会、山本明(株)根岸工務店、横須賀市消費生活研究会、栗田敏彦、神奈川県生命保険協会、船橋珠枝、手話ダンスゆらぎ、日産労組追浜支部、日産自動車(株)技術・開発部門課長、パーラー風羅巴、三吉幸子、米山豊平、横須賀市都市施設公社湘南国際村西公園、横須賀市都市施設公社サブアリーナ温泉プール、横須賀市学童保育連絡協議会、社会福祉法人三育福祉会、内藤政明、三春映画会若草グループ、根岸工務店協力会、社団法人横須賀法人会、城北母親クラブ

「哲」、NTT DoCoMo R&D センター移動機開発部、阿倍三三代、宇野智恵、大橋地区ボランティアセンター、大津地区ボランティアセンター、追浜地区ボランティアセンター、榑沢章子、衣笠地区ボランティアセンター、久里浜地区ボランティアセンター、塩野和子、信濃屋書店、高野富士男、武山地区ボランティアセンター、電力中央研究所、東芝ウイズ(株)、中里末子、中山保子、何川悦子、松生キヨ子、三浦藤沢信用金庫、光美会、宮代任浩、山崎峰崇、横須賀共済病院、横須賀市市民生活課、横須賀市シルバー人材センター、渡辺訓宏、匿名2件

寄付金 二十八件
二、三二一、一七六円
物品 三十八件

あとがき

昨午大晦日の直前、民生委員のS氏宅に緊急の電話が入った。A氏(高齢夫妻の二人暮らし。子供はなく妻は認知症)からの訴えて「自分は体調が悪い、救急車で病院に行きたい。しかし、妻が心配だ。」

直ちにS氏は、予てから知己のある包括支援センター職員に認知症の妻の緊急シヨートステイを依頼。自分分はA氏に付添い、病院へ。しかし、診察結果は、入院の必要はないとのこと。しかし、このままA氏を帰宅させても夫妻が別々の生活で正月を過ごすことになり、A氏の不安感を察して再度、夫妻でシヨートステイを利用したい旨、依頼。その結果、A氏夫妻は、暮れからお正月にかけ、

施設で安心して生活が送れることができた。

この事例は、三つの要素が協力しあった結果、実現することができた。一つには、民生委員のS氏が地域で見守りの必要の方に対して常に心配りをされ、いざという場合に頼りがいのある人間関係を築かれていること、二つめは、福祉の専門家とネットワークを構築し、何時でも相談できる関係を保持されていること、そして三つめは、年末休暇であってもケアマネージャーが包括支援センターの要請に応え、出勤してシヨートステイ施設と調整を図ったこと。

この事例が、これからの横須賀市の地域福祉を進めるためのシステムづくりの一環として役立つことを期待したい。